

JAバンク北海道が「北海道コンサドーレ札幌応援定期貯金キャンペーン」3月から実施

貯めてもらって



ニッカンがご紹介する「場所・モノ・人」を紹介する「ニッカンウオッチ」の第2弾は、「お金」に注目。JAバンク北海道では、「北海道コンサドーレ札幌応援定期貯金キャンペーン」を、3月からスタートした。今季チーム名を変更したサッカーJリーグの北海道コンサドーレ札幌と、コラボした商品企画、地元チームを応援しながら、キャンペーンも楽しめる。

クラブ創設20周年

JAバンク北海道は1999年（平成11）から北海道コンサドーレ札幌のスポンサーを続けている。10年からはJリーグ北海道の1員として、オフィシャルパートナーにも参加。今季J1を目指すチームとの商品企画「北海道コンサドーレ札幌応援定期貯金キャンペーン」について担当者に聞いた。

担当 今季はチーム名の変更とクラブ創設20周年、J1昇格へ向けて応援できる商品企画を検討した中で、コンサドーレ通帳を作ることになりました。通帳は総合口座と定期貯金の2種類です。加えて口座開設の訴求力として、観戦チケットやグッズが当たるキャンペーンを企画しました。このような企画は初めてです。

担当 キャンペーン内容と特典は3月31日まで、定期貯金1年以上で新規預け入れ10万円以上が条件です。10万円につき1口で、抽選で総勢550人に賞品が当たります。A賞は背番号12番がプリントされたコンサドーレ2016シーズンレプリカユニホームを20名様に、B賞はホームゲーム観戦チケットSS席をペア30組様に、C賞はタオルマフラーを500名様にそれぞれプレゼントいたします。当選発表は6月ころ。C賞はJAバンク北海道のロゴ入りのオリジナルで非売品です。また、550という数字は「北海道550万人サポーター宣言」からで、この宣言自体が私どもだけでなくJAグループ北海道のスローガンとして取り組んでいます。

担当 抽選に漏れたらJAグループ北海道がチームと連携しているイベント「サッカー&食育教室「コンサドーレ」農園での収穫体験」へ優先的にご案内します。

今後のチーム関連のイベントは3月26日に札幌ドームで行われる京都戦で、ブースを出展します。当日はインターネットからJA口座が開設できるメールオーダーの受付を行いますので、ぜひお立ち寄りください。

昇格へ

企業姿勢に共感

取材後記 JAバンク北海道は金融機関だがベースは農業団体なので、食と農の取り組みに特長があるという。具体的な活動は09年からJR北海道ほかにAED（自動体外式除細動器）を寄贈し、累計は57台になった。ほかには子供向けの食農教育として、北海道コンサドーレ札幌と連携し「JAグループ北海道サンクスマッチ」でブースを出展、食料の自給率や、金融では1000万円の高さなどのクイズで感心を持ってもらっている。そうだと、あらためて人の命を大切に思う企業姿勢に頭が下がった。

JAバンク北海道

◆規模 道内のJA数は109で285店舗
◆貯金残高 3兆2262億3400万円、貸出金残高8273億4300万円（15年9月現在）
◆営業時間 JAバンク北海道ホームページ（http://www.jabank-hokkaido.or.jp/）の「店舗・ATM」で確認
◆キャンペーンなど問い合わせ お近くのJAバンクまで

盛りだくさんのキャンペーン特典の説明を受けるニッカンウオッチ隊員。切り込み写真はコラボした企画の「コンサドーレ通帳」

